

令和7年度

1 学年 技術科 年間指導計画・評価計画（第1版）

担当 [二瓶 大地]

教科の目標	指導・評価の重点および工夫点			
	知識・技能の定着	思考力・判断力・表現力の育成	学習意欲の向上	学習評価の生徒へのフィードバック
技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。	・ICT 機器教材や配付資料等を通して、視覚的・体感的に学べる授業を行い、基礎・基本の定着を図っていく。 ・作業が遅れがちな生徒には個別に対応する時間を確保し、取り組ませていく。	・家庭での実践、体験学習、調べ学習などを通して、学習の連続性をもたせる。 ・小学校との接続を大切にし、既習事項との関連を図り、活用させる。 ・ICT 機器を活用して他者との意見や考えを共有し、様々な視点から生活の中の技術について考察する。	・タブレット PC を積極的に活用し、視覚的・体感的に学べる授業を行う。 ・目標を提示し、終末に振り返りシートを活用して目標の達成具合を確認する。	・個々の生徒の学習状況・能力に応じた目標の設定及び評価の工夫を行っていく。 ・ワークシートや実習振り返りシートを活用し、生徒の学習状況の評価を適切に行う。

◎単元（１～数十時間の学習内容のまとまり）は、学習進度および生徒の実態、その他の要因によって変更となる場合があります。その場合は各担当から生徒へ説明を行います。

月	単元・教材	ICT との関わり	時数	学習指導および観点別学習状況の評価の観点等		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	ガイダンス 1 技術を見つけよう 2 技術とわたしたちの生活 (1) 技術の進展と生活・産業 (2) 資源の有効利用と環境 (3) 持続可能な社会と共生	・プロジェクター、PC	3	○生活や産業、環境と関わりながら技術が発展してきたことを理解している。 ○技術の発展とともに発生した環境問題について理解している。	○過去、現在の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。 ○環境問題について理解し、その対策・解決方法を考えている。	○図画工作などの小学校の既習事項から、これからの学習の見通しを持つことができる。 ○様々な技術を理解し、技術が果たす役割について考えようとしている。
5	A 材料と加工の技術 1 ものづくりの工夫と進め		2	○生活や社会、環境との関わりを踏まえて、材料と加工の技術の概念を理解している。	○生活の中から材料と加工の技術と機能、構造に関わる問題を見いだして材料の特徴に関する課題を設定できる。	○生活の中で技術の果たしている役割について考え、検討しようとしている。
6	方 2 材料		2	○製作品に用いる材料の特徴と利用方法や加工法について理解している。	○課題の解決策となる材料、大きさ、形状、構造などを、使用場所や加工方法などの制約条件に基づいて構想し、設計や計画を具体化できる。	○自分の設計について、より良い製作品にするための手段や方法を学んだことを活かして主体的に取り組もうとしている。
7	(1) 様々な材料 (2) 材料の特徴 3 設計 (1) 設計の進め方 (2) 製作品の決定 (3) 製図			○材料の特徴と利用方法を理解している。 ○工具のしくみや使用方法について理解している。 ○製作品の目的と材料に適した加工を選択する技能を身に付けている。 ○製作品の機能、構造を考えた製作図を作成する技能を身に付けている。 ○等角図や第三角法などを用いて製作に必要な図を書く技能を身に付けている。		
夏休						
9	4 製作実習 (1) けがき (2) 切削 (3) 部品	・プロジェクター、実物投影機、タブレット PC		○工具や機器を安全に使い、製作品の部品加工、組み立て及び仕上げをする技能を身に付けている。	○設計に基づく能率的な作業方法を適切に選択できる。	○工具の仕組みに関心をもち、適正に活用しようとしている。
10	(4) 検査と修正 (5) 評価			○安全・適切な製作や製作品の検査・点検を	○完成した製作品が設定した課題を解決できるかを評価するとともに、設計や製作の過程対	○製作品の製作に、主体的に取り組もうとしている。

1 1				する技能を身に付けている。	する改善及び修正を考えることができる。	○安全で快適な生活や社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んでいる。
1 2						
1 B 生物育成の技術	・プロジェクト1 一、PC、タブレット PC	1 0	○育成する生物の成長、生体の特性等の原理・法則について理解している。 ○生物の成長に必要な作業や管理方法について理解している。 ○生育する生物の管理作業方法と機材について理解している。 ○作物の栽培に必要な栽培環境を整える技能を身に付けている。 ○作物に合わせた栽培計画を立てる技能を身に付けている。	○生物育成の技術が育成する生物の成長の変化をとらえ、育成する生物に応じた問題を見いだして課題を設定できる。 ○課題の解決策と、作物の条件から適切な栽培方法を選択し、栽培計画を元に合理的な解決策を見いだすことができる。	○生物育成または栽培技術について、生活との関係に関心をもって主体的に学習しようとしている。 ○国や地域ごとの風土や環境によって生育方法が異なることを活用して栽培方法を主体的に検討しようとしている。 ○安全で快適な生活や社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んでいる。	
2 1 わたしたちの生活と生物育成						
2 2 生物育成の計画・管理方法						
3 法 （1）作物の栽培・管理 （2）家畜の飼育・管理 （3）水産生物の飼育・管理 3 実習 （1）栽培実習						
評価材および評価方法			・定期考査 ・授業プリント ・作品	・定期考査 ・授業プリント ・作品	・実習の取り組み ・授業プリント ・作品	